

## 大学入試 2011年総括と12年動向

# 志望見据え地元校も

### 2011年 受験戦線

2012年春、大学受験に臨む高校生や浪人生にとって要ともなる夏休みも終盤。ここで11年春の大学入試の流れと12年の動向を見ながら、あらためて自分が本当に進みたい方向を見据えて、秋以降の目標を立てたい。

(教育ライター・小長井 絵里)

「11年春の受験戦線は、不況が続ぎ私立から国公立回帰の傾向がみられました。来年も同様と考えられます」と中萬学院グ

ループ・大学受験指導事業部の井川隆成事業部長は指摘する。経済的負担や就職面を考慮してか、国公立大学志願者は5万4193人で、1万4917人増えた。大学入試センター試験志願者は、国公立志向などから前年より約1%増の55万8984人だった。

また私立も含めて、理工系学部が志願者を増やした。文系でも資格が取れる教育系学部やグローバル化の流れで国際教養系学部も人気だった。

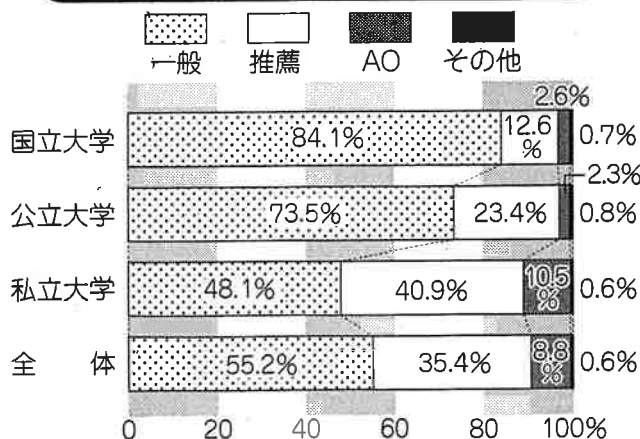
2000年ごろから私大で増大したAO(アドミッション・オフィス)入試は、国公立大でも増加傾向にあり、42.9%の

69校で実施された。ただ基礎力確認のため、センター試験クリアを条件とする大学が拡大している。

県内の大学について、井川事業部長は「工学部を理工学部にするなどの改組を行った横浜国立大学が注目されま

す。横浜市立大学は、2年後の13年の入試からセンター試験を3教科4科目から原則5教科7科目(看護学科は5教科6科目)にし、私大との併願者から国立大受験者の取り込みへ軸足を

2010年度入学者の入試形態別割合



※文部科学省「平成22年度国公立私立大学入学者選抜実施状況」

将来、本県で働こうという気持ちのある受験生なら、「志望校を選択する中で、地元のある大学に目を向けてみるのもひとつ」と語る。

「また慢性的な看護師不足から、看護系学科を持つ横浜市立大学では、2年前から指定校推薦を増やしており、さらに拡大する見込みだ。」